

第7回福岡空港運営検討協議会 議事概要

日時：平成26年10月27日（月）

11:40～12:00

場所：ホテルレガロ福岡

3階 レガロホールA

(1) 委員の紹介について

【司会】

定刻を10分ほど過ぎておりますが、ただいまから第7回福岡空港運営検討協議会を開催いたします。

(配付資料確認)

本日の出席者についてですが、お手元の出席者名簿によりまして、委員のご紹介に代えさせていただきます。なお、代理でご出席の方々のご紹介いたしません。

福岡市経済観光文化局長 重光知明の代理として、福岡市経済観光文化局理事 落石稔彦でございます。

本日は、会長を含め11名の協議会委員にご出席をいただいております。なお、委員の日本大学経済学部教授 加藤一誠様は本日ご欠席となっております。

続きまして、オブザーバーにつきましてお越しいただきました方のご紹介いたします。国土交通省航空局航空ネットワーク部空港施設課から、本日は空港施設高度利用推進室長 黒川和浩様にお越しいただいております。

では、議事に先立ちまして、河部会長からご挨拶をお願いいたします。

(2) 会長挨拶

【会長】

皆様、おはようございます。

委員の皆様には、大変ご多忙の中、第7回福岡空港運営検討協議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

今回は、前回一任をしていただきました、県、市への報告案についての協議となります。協議会として最終的な結論を出す最後の会議ということでございます。議事進行によりしくお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

(報道カメラ撤収)

(3) 議 事

ア 福岡空港の民間委託について (案)

【司会】

それでは、議事に入らせていただきます。協議会設置要綱第7条に基づきまして、会長、議事進行をお願いいたします。

【会長】

それでは、次第に沿って議事を進めたいと思います。よろしく申し上げます。では、お配りしました報告案について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それでは、「福岡空港の民間委託について(案)」につきまして、ご説明いたします。

この資料は、福岡県、福岡市へ提出する報告書の案となります。福岡空港の民間委託について、これまで協議会でご議論いただいた内容を総括しております。

それでは、資料の目次をめぐっていただきまして、その次のページ「検討の趣旨」です。ここには、本協議会の検討の趣旨を記載いたしております。

下の図は第2回でお示ししたものでございますが、協議会の位置付けを表しているものでございます。

繰り返し申し上げることになりますが、本協議会では、福岡空港の民間委託について、地域の振興・発展の観点から地元としての意見の(案)をとりまとめ、知事・市長は、これを踏まえて設置管理者である国に対して、地域としての意見を伝えることとなります。

検討の趣旨の5行目、「福岡空港の効果や課題について」のところですが、「福岡空港の民間委託の効果や課題・対応について」というように、「民間委託の」を付け加えていただければと思っております。

この地元意見で民間委託の検討を進めることが是となった場合に、国において、具体的な検討が開始されることとなるということでございます。

それでは、続きまして1ページをお願いいたします。「1 福岡空港の現状について」でございます。

昨年10月の第1回協議会でお示しした福岡空港に関する情報を、最新の状況を含めまして、改めて記述いたしております。

説明は割愛させていただきますが、そのうちの6ページから7ページでござ

いますけれども、「(4)福岡空港の整備」として、滑走路増設や平行誘導路二重化について記述しており、7ページの上から2段落目でございますけれども、「利用者のニーズに合わせて安定的な運航を実現し、利便性を高めていくためにも、空港能力の向上が喫緊の課題であり、滑走路増設に係る環境アセスメントの適切かつ円滑な実施、滑走路増設の早期着工・早期完成と国内線側平行誘導路二重化の早期完成が急務となっている。」といたしております。

続きまして10ページをお願いいたします。ここから16ページまでが「2福岡空港の位置付けと必要な機能、整備・取組について」でございますが、これらの部分は、既に先週金曜日の第6回協議会などでお示した内容と重複するため、説明については割愛させていただきます。

続きまして17ページをお願いいたします。「3 福岡空港の民間委託について」でございますが、ここも第6回協議会とほぼ同じ内容となっておりますので、ここにつきましても説明については割愛させていただきます。

20ページをお願いいたします。「(2)福岡空港における民間委託の課題と対応について」につきましては、冒頭に文章を追加させていただいております。読み上げさせていただきます。

「福岡空港には、歴史的背景から借地を有していること、市街地の空港であり十分な環境対策が必要であるといった固有の事情がある。また、民間委託は先例がなく新しい制度であることから、地元の意向の反映、地域振興への協力、誘導路二重化等現在進行中の整備事業への影響などの課題があり、その対応が必要である。

なお、民間委託の実施にあたっては、空港の整備事業に支障がなく完了が遅れることがないこと、実施時期についても、事業の進捗や完成時期等を踏まえ、運営希望者が事業判断が可能となるようなタイミングとすること、及び雇用の確保、地元の意見を反映するための地元企業を含めた幅広い参加と運営の仕組みを確保することを基本とすべきである。」それから、「以下個別の事情等の課題と対応について整理した。」という文章を追加しております。

それから、福岡空港に固有の事情に関する①を持ってきて、項目の順番の変更をいたしております。特に借地料と環境対策については大事な点でございますので、国が責任を持って対応する必要があるとして、先頭に持ってきております。借地料については、運営権者に払わせるのではなく国が支払うこと、また、環境対策についても、経過措置を含め、国が責任を持って対応、実施することと、記述させていただいております。

続きまして21ページをお願いいたします。修正箇所を中心に説明させていただきます。「③福岡空港の整備について」でございます。

第6回の協議会で、滑走路が1本か2本かわからない状況では、入札に支障

が生じるのではないかとのご意見がございましたので、「平行誘導路二重化や国内線旅客ターミナルビル再整備事業、滑走路増設事業などに影響が出て、事業完成が遅れないようにする必要がある。また、民間委託の実施時期についても、これらの事業の進捗や完成時期等を踏まえ、運営希望者が事業判断が可能となるようなタイミングとする必要がある。」といたしております。

それでは続いて23ページをお願いいたします。「(3) 福岡空港の民間委託について」でございます。

この部分が協議会としての意見、報告書の主旨となります。それでは全文読み上げさせていただきます。

「福岡空港は、極めて高い利便性を持ち、福岡都市圏のみならず、九州・西日本の経済、文化、観光など様々な地域の発展、成長をけん引している。また、国管理の拠点空港として、国内輸送、国際輸送に重要な役割を果たしている。オープンスカイやアジア/太平洋地域の需要拡大を踏まえ、更に拠点性を高めていくことが期待される。

その目指す姿は、「国内外の広範な地域との多様な交流を支える拠点空港」「九州、西日本、アジアの拠点空港」であり、戦略的な路線誘致、地域戦略を踏まえた空港運営の実施、空港容量確保のための迅速な施設整備による「航空ネットワークの拡充」、旅客ターミナル機能の充実や空港へのアクセス強化による「更なる利用者利便の向上」が必要であり、また、24時間利用可能な「北九州空港との役割分担、相互補完の促進」によって今後増大する需要に対して幅広く応えていくことが必要である。

この福岡空港の民間委託については、航空系事業と非航空系事業との経営の一体化によって可能となる空港利用料金の柔軟な設定による魅力的な路線誘致、限りある発着枠を有効利用することによる多様なネットワークの形成、今後の北部九州の需要増大を賄うための北九州空港との相互補完の促進、また、コスト削減や収益の増加等による利用者サービス施設への再投資や多様なサービスの提供など利用者サービスの向上、空港の魅力の向上等の効果が認められる。

一方で、地元への十分な配慮、また地域振興や北九州空港との一体的活用への協力が得られるのか、利益を最優先し、必要な投資が実行されないのではないか、経営環境の変化等により安定的な空港運営が保てなくなるのではないか、大規模災害時の対応は確実に行われるのか、また、福岡空港の固有の事情である借地に対する国の対応や環境対策、空港周辺地域との共生などの課題がある。これらの課題については、「福岡空港における民間委託の課題と対応」で示した内容を、国において実施されることが必要である。

以上の検討結果を踏まえ、本協議会としては、福岡空港の民間委託は、地域の振興・発展に大きな効果があるものとする。ただし、様々な課題もあるこ

とから、「福岡空港における民間委託の課題と対応」で示した内容を条件にすべきと考える。」といたしております。

次ページ以降は、参考として協議会の開催状況と委員名簿を添付いたしております。

資料編については、ご参照いただければと思います。

説明は以上でございます。

【会長】

はい、ありがとうございました。

事務局からの説明について、何かございますか。

【委員】

配布いただいた資料の中に「資料編」がありますが、これは我々の報告書の中に一緒にまとめられるのでしょうか。それとも単なる資料でしょうか。

【事務局】

一緒に取り扱いたいと思います。

【委員】

地元としての意向を明確にするべきではないかと申し出ていた者としては、会長に一任ということで前回の協議は終わりましたけれども、このような形にまとめていただいたことに、深く感謝申し上げたいと思います。

やはり、これまで何回も議論しておりますけれども、これから日本経済全体がアジアシフトをさらに強化していかなければならないという観点に立つと、東京はもちろん重要な機能がありますけれども、それ以外の地域では、福岡は非常に伸び代が大きく、ポテンシャルの大きな地域でありまして、グローバル化の一番基本的なインフラとして、福岡空港というのは非常に重要な施設であるということで、これに一応の結論が出たということで、委員の一人としても非常にありがたく思っております。

民間委託することに決まった場合でも丸投げすることがないように、国としても国家戦略的な空港であるという認識をお持ちのはずなので、日本経済を九州、福岡から変えていくご理解も得られるように、会長から県、市への報告に是非申し添えていただきたいと思いますと思っております。

以上でございます。

【会長】

委員が言われたように、非常に大きな問題でございますので、私からもお願いしておきたいと思えます。

ほかに何かありますか。

これで報告書は固まったものと思えます。

この報告書につきましては、明日、私から県、市にお持ちすることとしたいと思います。

委員の皆様にはこれまでの一年を超える期間、ご多忙にもかかわらず、様々な分野から、また、幅広い知見を持ってご議論をいただきました。また、ご協力いただきました。誠にありがとうございます。

それでは、議事はこれまでとさせていただきます。福岡空港運営検討協議会の終了といたします。

ありがとうございました。

【司会】

会長、ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、福岡空港運営検討協議会を終了いたします。